

日中友好新聞

日 中

おみやげ

読字 原田 鏡

No. 816

2016/ 12/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区湯島
4-1-1 TEL: 03-3837-2111

日中友好協会
岡山支部
〒710-8256
岡山東区3-8-30 514
TEL: 086(272)-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市連島中央1-8-4 (宮地方)
TEL: FAX: 086(446)-2711

神戸地裁勝訴判決10周年記念集會に参加して

弁護士 則武 透

さる12月4日、神戸市長田区「ふたば学舎」で行われた神戸地裁勝訴判決10周年記念集會に参加しました。ふたば学舎は、昭和初期に建設され、戦災・阪神淡路大震災を乗り越えてきた二葉小学校

校舎を神戸市立地域人材センターとして活用している建物です。まさに、中国、日本での様々な苦難を乗り越えてこられた残留孤児のみなさんの記念集會を開催するに相応しい場所でした。



左から高杉、則武、小林



開始時刻の午前10時半ギリギリに会場に到着したところ、既に会場は満員で熱気に包まれていました。200名近い参加者だったと思います。はじめに、宗藤泰而弁護士（元兵庫弁護士長）から、10年前の神戸地裁判決の先駆性、判決時の感動、そして新支援策の実施と引き替えに訴訟を取り下げた際の無念が語られました。兵庫弁護士からすれば、全国で唯一勝訴判決を勝ち取り、しかも被告国の控訴で既に始まっていた大阪高裁でも更なる勝利を目指していたのですから、新支援策の実施と引き替えに訴訟を取り下げたことは、いかに全国の残留孤児のためとはいえ、さぞかし断腸の思いだったでしょう。

その後、当時のテレビ報道のビデオ、原告団3名・帰国者2世・神戸大浅野慎一先生のお話がありました。印象に残ったのは、尼崎の日本語教室の生徒6名が演じた朗読劇。流ちょうな方もたどたどしい方も、学んできた日

「さとにきたら、ええやん」

こんなに感動できた映画、めったにない。大阪市西成区にある「子どもの里」という、①安心な場 ②愛されているという実感があふれ失敗しても大丈夫な自由な場 ③生きているだけ素晴らしい、自信と自己尊重の場 ④聴いて、受け止めてくれる人がいる場 ⑤必要な生活の場、仕事の間、地域文化を創造する場、ピンクのパンフレットにこうある。

西成・釜ヶ崎＝危険な街という偏見を持っていたという映画監督の重江良樹さんの話もよかった。46ページいっぱい広がる子どもたちの顔、玄関にぬぎすてられた30足もの運動靴、大人に見捨てられそうになったコドモ、コドモ……

第13回人権と文化のつどい(2016・11・26) 総合福祉会館で、人権岡山主催でありがとう。 竹内和夫

新しい支部理事に丸山眞子さん

岡山支部は10人の役員が毎月理事会を開いています。ひとり欠員のところ、丸山眞子さんに新しい理事になっていただきました。

岡山の歴史を振り返ると、両国民間の友好運動は、とぎれることなく、つづいています。月3回の郵送料などは3万円ほどですが、倉敷支部から郵送料が送られてくるようになって大いに助かっています。

そこで会費と準会費を新年1月から百円ずつ値下げすることを、先月の理事会で決めましたので、会費は月千円、準会員は月五百円となります。ひきつづきご支援くださいませよう。

は、岡山弁護士団が兵庫弁護士団に資料提供した帰国妨害の主張が取り入れられていきます。その意味では、神戸地裁判決は、兵庫だけでなく、岡山、そして全国の弁護士・原告団が共に勝ち取った、血と汗と涙の結晶と言えるでしょう。こうして、兵庫の皆さんと共に10周年のお祝いが出来たことに感動した一日でした。

新年1月から会費など値下げします

岡山支部のみなさん、日中友好新聞を読んでいただき、ありがとうございます。20年の友好の歴史を振り返ると、

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.biz/
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



第3回中国百科検定に向けて

知ってるようで知らなかった中国

緋田博

いま、世界の動きを見てみると、中国の台頭が著しい。アメリカの国民総生産(GDP)を近いうちに、追い越し世界一の大国になろうとしている。

日本との関係も、古くから深く、大きな影響を受けています。しかし、中国というと、四川省で四川料理、戦前の満州の関係で吉林省、遼寧省、黒竜江省など聞いたことがある程度しか知りません。中国百科検定ものしりコー

スを受けようと思ひ、気軽な気持ちで問題集を買いました。地理、政治経済、歴史、風俗習慣など様々な内容の問題集で、少し面喰いしましたが、一つひとつの問題をただ暗記するのではなく、中国の年表や地理など全体を勉強しながら問題集を勉強するほうがためになると気がつきました。日本史を勉強したように中国史を学びながら、現代中国の動向を予測できるようになりたいと思います。

きりえ教室の感想

前号の「きりえ教室」のつづきです。体験した、貝吹講師と受講生の感想文及び竹内先生のきりえ教室を紹介します。

「きりえ」を通して言葉の使い方を勉強

私は細かい作業がとても苦手です。「きりえ」を見るのは、とても好きなのですが、今回もどこかで躊躇している自分がありました。でも教えてくださる方が、日中新聞や絵がききなどで見ていた竹内宜子先生だったので、お会いするのを楽しみにしていました。

この日は、来年の干支である「さり」を年賀はがきにするということでした。「さり」は私の干支なので少しうれしくなりました。一番簡単そうなのデザインにしましたが、これがなんと、ややこしくトホホの連続でした。でも先生の「大丈夫大丈夫、ほらできたでしょー!」という言葉に助けられながら、やつと作ることができました。ただ私の「さり」色んな「さり」に見えるので不思議



左から貝吹さん、黒田さん、益田さん

です。でも、なぜか愛しいような感じがして、早速額に入れて飾りました。

「きりえ」を通して技術だけでなく、時間の許す限り一人ひとりと向き合う姿勢や、言葉の使い方がとても勉強になりました。言葉は心の使い」といいますが、言葉はその人ののだと、あらためて気づかせていただきました。先生にお会いできたこと、感謝します。

貝吹佳代子

笑顔がいっぱい

きりえ教室

11月22日、日本語学習講座は、きりえの授業をしまし

午後2時、定刻に教室に着きました。まず、竹内先生は学習用の教材をきちんとテーブルに並べる。授業が始まった、先生は根気よく丁寧に作る過程を解説してくれる。

私たちは自分で作り始めた。徐々にみんなは、時間を

忘れて、完全に制作の楽しみに浸る。

先生は私たちに、はがきをどのように張り付けるか教えてくれた。みんなは自分の作ったはがきを見て、笑顔がいっぱいになった。ほんとうにうれい、ありがとう!

竹内先生は私たちに幼い子どもころの思い出を探し出してくれました。

黒田

きりえ体験の感想

2016年11月22日、芳田日本語学習講座の先生は、私たちにきりえ体験をさせてくれました。竹内先生が教えてくれた作品を展示してくれ、きれいな花やにわたりの絵柄がありました。これらは絵柄がよく、彩も適当で楽しむことができました。そして、きりえの作り方を教えてくれました。先生の分かりやすい指導で、みんなはとても興味深くまじ



馬場さん

めに勉強しました。いろいろな絵柄を切って、ほんとうにうれしかったです。先生と一緒に年賀状を作って、きりえを体験しました。おもしろいので、すからいつもより時間が短いと感じました。

益田聖子

夢のような一瞬

芳田日本語学習講座の開催者の小林先生と貝吹先生は、受講生が日本の生活に慣れるために、5年間いろいろな実用学習を体験させてくださいました。とても感謝しています。

きりえはもともと、中国の伝統的な芸術です。竹内宜子先生は、全国きりえコンクールの賞の持ち主です。事前に竹内先生は、すべての材料と道具を準備してくれましたから、とてもありがたかったです。

先生は、親切で、丁寧に指導してくださいました。皆さんは好きな色紙(和紙)や文字や、絵などを選びました。経験したことのある私は、何十年ぶりの作業に、うきうきした気分になりました。先生の教えたとおり、真剣にやればやるほど、楽しくなりました。それでも作業しながら、昔、子供のころの図工作教室にいる友達の気配がよみがえりました。時間が早すぎて、夢のような一瞬でした。

馬場文恵

きりえ 西市教室 (申込受付中)

初めての方でも下絵をもとに小さな作品からトライしてみましよう
今話題の「きりえ」あなたも始めてみませんか
講師:竹内 宜子 (日本きりえ協会会員・岡山きりえの会代表・きりえ風所属)
開講日:第2・4水曜日 (基本)13:30~15:30
受講料:全6回 ¥9,000 (前払い)
教材費:¥2,000 (カッターナイフ・マット・糊・色和紙・黒和紙)
連絡先:TEL090-7970-6796 (竹内宜子)

次回の新聞発送作業は
12月26日(月)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

林田 和製
小曾 竹内井
竹内 坪井